

問10. あなたのこの1年間の健康状態は、おおむね、いかがでしたか【二つだけ〇】。

- | | | | | |
|------|--------|-------------|--------|------|
| 1 良好 | 2 まあ良好 | 3 どちらともいえない | 4 やや悪い | 5 悪い |
|------|--------|-------------|--------|------|

問11. 学校を卒業後（中退を含む）最初にした収入をともなう仕事は、次のどれですか【二つだけ〇】。

- | | | |
|---------------------|--------------|-------------|
| 1 正社員・正職員 | 2 パート・アルバイト | 3 契約社員・派遣社員 |
| 4 日雇いの仕事 | 5 家の仕事やその手伝い | 6 内職 |
| 7 その他（具体的に） | | |
| 8 収入をともなう仕事をしたことがない | | |

→ 問11-1. 最初にした仕事の内容を具体的に答え下さい（例：工場作業、飯の販売）。

具体的に

→ 問11-2. 最初にした仕事は、どの位の間続けましたか（続いていますか）。

約 年

問12. 今までにもっとも長い間した収入をともなう仕事は、次のどれですか【二つだけ〇】。

- | | | |
|---------------------|--------------|-------------|
| 1 正社員・正職員 | 2 パート・アルバイト | 3 契約社員・派遣社員 |
| 4 日雇いの仕事 | 5 家の仕事やその手伝い | 6 内職 |
| 7 その他（具体的に） | | |
| 8 収入をともなう仕事をしたことがない | | |

→ 問12-1. 仕事の内容を具体的に答え下さい（例：工場作業、飯の販売）。

具体的に

→ 問12-2. どの位の間続けましたか（続いていますか）。

約 年

問13. 生活保護を受ける直前にしていた収入をともなう仕事は、次のどれですか【二つだけ〇】。

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 正社員・正職員 | 2 パート・アルバイト | 3 契約社員・派遣社員 |
| 4 日雇いの仕事 | 5 家の仕事やその手伝い | 6 内職 |
| 7 その他（具体的に） | | |
| 8 無職・休職中だった | | |

→ 問13-1. 仕事の内容を具体的に答え下さい（例：工場作業、飯の販売）。

具体的に

問14. 現在の仕事は、次のどれですか【二つだけ〇】。

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 正社員・正職員 | 2 パート・アルバイト | 3 契約社員・派遣社員 |
| 4 日雇いの仕事 | 5 家の仕事やその手伝い | 6 内職 |
| 7 その他（具体的に） | | |
| 8 無職・休職中 | | |

→ 問14-1. 現在の仕事の内容を具体的に答え下さい（例：工場作業、飯の販売）。

具体的に

問15. 行政（役所）や社会に支援してほしいことがあれば記入して下さい。

具体的に

◎ これで質問は終わりです。

長時間ご協力いただきましてありがとうございます。◎

◎ 同封の返信用封筒に入れ、

8月15日（月）までにお送り下さい（切手不要）。◎

子どもの自立支援推進についてのアンケート調査

(ケースワーカー調査)

平成 23 (2011) 年 8 月
神奈川県

【ご記入に際してのお願い】

- ・ご記入は、鉛筆又は黒・青のペン・ボールペンでお願いいたします。
- ・質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方にご記入だけおたずねするものもありますが、その場合は (→) 等の指示にそってお願いいたします。
- ・お答えは、当てはまる回答についている数字を○印で囲んでいただく場合と、マスの中に数字を記入していただく場合があります。「その他」に当てはまる時は、その数字を○で囲み、() 内に具体的な内容を記入してください。
- ・質問文のおわりに【一つだけ○】という場合には1つだけ、【当てはまるもの全てに○】という場合にはいくつでも○印をつけてください。
- ・ご記入が終わりましたら、もう一度、記入まちがいや記入もれがないかどうかお確かめください。

【調査実施】 神奈川県 保健福祉局 地域保健福祉部 生活保護課

【調査委託先】 (株) タイム・エージェント

【問い合わせ先】 アンケート事務局 担当/渡部、後藤 Tel. 03-3770-6823

(受付時間/10:00~18:30、土日祝除く)

あなたについてお尋ねします。差し障りのない範囲でお答え下さい。

*なお、全ての質問は7月1日現在の状況についてお答え下さい。

問1. あなたの所属している福祉事務所名をお答え下さい【一つだけ○】。

- 1 政令市・中核市の福祉事務所 2 政令市・中核市以外の市福祉事務所
3 郡部の福祉事務所

問2. 下記についてお答え下さい。

① 性別	1 男	2 女
② 年齢	[] 歳	
③ 保有資格【当てはまるもの全てに○】	1 社会福祉主事 2 社会教育主事 3 児童福祉司 4 社会福祉士 5 教員免許 6 臨床心理士 7 看護師 8 保健師 9 なし	
④ 生活保護ケースワーカーの経験年数	[] 年	[] ケ月

あなたの担当する世帯についてお尋ねします。

問3. 担当世帯のうち、18歳以下の子どもが同居している世帯は何世帯ですか。

世帯

問4. 次の学齢の子がいる世帯は何世帯ですか(例えば、同一世帯内に就学前の子どもと小学生がいる場合は、両方を1と数えて下さい)。

① 就学前	[] 世帯	② 小学生	[] 世帯
③ 中学生	[] 世帯	④ 高校生	[] 世帯

18歳以下の子どもが同居している世帯の把握状況についてお尋ねします。

* 7月1日現在の担当世帯に18歳以下の子どもと同居している世帯がない場合は、最近担当したときの状況をお答え下さい。

問5. 担当している世帯の子どもとは大体どの程度の頻度で会っていますか。平均的な頻度をお答え下さい【一つだけ○】。

1 一ヶ月に1回程度	2 半年に2、3回程度	3 半年に1回程度
4 一年に1回程度	5 子どもとは会ったことがない	

問6. あなたは担当している世帯の子どもについて下記のことを把握していますか【それぞれ項目ごとに一つずつ○】。

	把握している	ある程度把握している	あまり把握していない	把握していない	不明
1. 病気の健康に関する状況	1	2	3	4	
2. 健康診断の受診状況	1	2	3	4	
3. 学校の行事日程	1	2	3	4	5
4. 遅刻や早退等の学校の出席状況	1	2	3	4	5
5. 学校での部活動	1	2	3	4	5
6. 学校の成績	1	2	3	4	5
7. 仲の良い友人	1	2	3	4	
8. アルバイトをしている場合のアルバイト先	1	2	3	4	5
9. 親(養育者)との関係(良好か否か等)	1	2	3	4	
10. 趣味や遊び事	1	2	3	4	
11. 将来の夢や進路	1	2	3	4	

問7. 子どもの状況を把握するためにどのようなことをしていますか【当てはまるもの全てに○】。

- 1 子どもに声をかけて様子を把握するようにしている
- 2 親（養育者）によく子どもの様子を聞いている
- 3 子どもの担任と連絡を取っている
- 4 福祉事務所や児童相談所等の関係機関から情報を集めるようにしている
- 5 その他（具体的に)
- 6 特にしていることはない

問8. あなたの担当している子どもの同居している世帯のうち、普段の親子関係（養育者との関係を含む）が次のような世帯はどの程度ありますか。分かる範囲でお答え下さい【それぞれの項目ごとに一つずつ○】。

	半数以上	3	1, 2	1, 2, 3	1, 2, 3, 4	ほぼ1と未満	わからない
1. 一人で夕食を取っている子どもがいる世帯	1	2	3	4	5		
2. 親と一緒に過ごす時間があまりない子どもがいる世帯	1	2	3	4	5		
3. 親子で出かける世帯	1	2	3	4	5		
4. 学校や幼稚園、保育所での出来事をほとんど知らない親がいる世帯	1	2	3	4	5		
5. 学校や幼稚園、保育所からの配布物をほとんど見ない親がいる世帯	1	2	3	4	5		
6. 子どものテストの点数や成績にほとんど関心のない親がいる世帯	1	2	3	4	5		
7. 学校や幼稚園、保育所の行事にほとんど参加していない親がいる世帯	1	2	3	4	5		
8. ほとんど会話がでない親子の世帯	1	2	3	4	5		
9. 親子で将来の夢や進路について話をしない世帯	1	2	3	4	5		

問9. 親の世代の貧困が子どもの生活や様々な機会に影響を与えるいわゆる「貧困の連鎖」があると感じるとはありますか【一つだけ○】。

- | | | | |
|-------|-------------|------------|--------|
| 1 感じる | 2 感じる 때가 ある | 3 ほとんど感じない | 4 感じない |
|-------|-------------|------------|--------|

問10. 「貧困の連鎖」を断ち切るために、子どもに視点をあてた支援が必要だとおもいますか【一つだけ○】。

- | | | | |
|------|----------|-----------|--------|
| 1 必要 | 2 できれば必要 | 3 あまり必要ない | 4 必要ない |
|------|----------|-----------|--------|

18歳以下の子どもへの支援についてお尋ねします。

問11. 18歳以下の子どもへの支援として特に有効と考えるのはどのようなものですか。また、現在実施している支援はどのようなものですか。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1. 子育て全般の相談	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2. 定期健診や予防接種を受けるときの支援												
3. 子どもたちの生活習慣やしつけに関する支援												
4. 保育所・幼稚園に入るときの支援												
5. 小中学校に入るときの支援												
6. 高校進学に向けた学習支援												
7. 就職に向けた支援												
8. 奨学金などお金の面での相談												
9. 不登校になったときの相談												
10. 非行や暴力についての相談												
11. 生活保護受給世帯の子どもの居場所作り												
12. その他（具体的に)												

問 12. 18歳以下の子どもの同居する世帯への支援について難しいと感じることはありますか【一つだけ〇】。

1 感じる	2 感じるときがある	3 ほとんど感じない
4 感じたことはない		

〔問12で、1～3に〇をした場合〕

→ 問 12-1. どのような課題に対する支援が難しいと感じますか。

① 親・養育者に関する課題【当てはまるもの全てに〇】

1 教育問題	2 子どもの発達	3 育児の悩み
4 育児放棄	5 障害による養育困難	6 子どもの虐待
7 保育園等活用	8 その他子育て全般	9 就労維持
10 健康状態把握	11 通院・服薬管理	12 飲酒等の依存症
13 家事	14 家計管理	15 債務整理
16 美家との関係	17 近隣との関係	18 前夫関係
19 異性関係	20 DV	21 離婚調停
22 養育費確保	23 手当受給申請	24 自立支援・介護サービスの導入
25 その他（具体的に）		

② 子どもに関する課題【当てはまるもの全てに〇】

1 生活習慣	2 健康状態	3 親子関係	4 学校生活
5 非行	6 不登校	7 退学	8 学業不振
9 引きこもり	10 子どもの障害	11 進学	12 進路
13 将来の夢を持たせること	14 その他（具体的に）		

問 13. 子どもを支援するに当たって、次のような経験をしたことはありますか【それぞれの項目ごとに一つずつ〇】。

	よくある	ときどきある	あまりない	ない
1. 子どもが会うことを拒否する	1	2	3	4
2. 子どもが深夜に啼き出すことが多く、なかなか会うことができない	1	2	3	4
3. 親や養育者が子どもに会わせがたがない	1	2	3	4
4. 親や養育者からの理解・協力が得られない	1	2	3	4

問 14. 子どもを支援する上でどのようなところを難しいと感じますか【それぞれの項目ごとに一つずつ〇】。

	感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない
1. 子どもとの意思疎通が難しい	1	2	3	4
2. 子ども発達についての知識や技術が不足している	1	2	3	4
3. 時間的余裕がない	1	2	3	4
4. 個人情報取り扱いの問題もあり、支援に必要な情報を得ることができない	1	2	3	4
5. 関係機関との連携・協力が不十分である	1	2	3	4
6. その他（具体的に）	1	2	3	4

問 15. 子どもを支援する上で、どのような体制や仕組みが有効だと思いますか【それぞれの項目ごとに一つずつ〇】。

	有効である	ある程度有効である	あまり有効ではない	有効ではない
1. 子どもの成長段階にあわせた支援項目のリストを作成する	1	2	3	4
2. 進学・入試や就職の情報を共有する	1	2	3	4
3. 関係機関一覧表を作成する	1	2	3	4
4. ケースワーカーに対する子どもの発達や行動の見方に関する研修を充実させる	1	2	3	4
5. 子どもに係る窓口の一本化	1	2	3	4
6. 子ども支援と生活保護の両方の知識を持った人が福祉事務所にいる	1	2	3	4
7. 関係機関のネットワークを構築し、連携した対応がスムーズにできるようにする	1	2	3	4
8. 関係機関も参加した事例検討会を定期的に開くようにする	1	2	3	4
9. その他（具体的に）	1	2	3	4

他機関との連携・協力についてお尋ねします。

問 16. 18 歳以下の子どもの支援に関し、他機関と連携したことはありますか【一つだけ〇】。

1 連携している 2 連携したことがある 3 連携したことはない

〔問 16 で、1又は2に〇をした場合〕

問 16-1. 連携した機関や連携内容等について下記【記入方法】に従い下表に記入して下さい。

【記入方法】(次ページ【記入例】参照)

①連携……連携したことのある機関・内容に〇

②効果……「①連携」に〇をした場合に、効果について下から番号を選んで記入

1 効果があつた 2 ある程度効果があつた

3 あまり効果がなかつた 4 効果がなかつた

③効果がなかつた理由

……「②効果」に3、4を記入した場合に、その理由を下から選んで番号を記入(複数の内容について連携した場合、「②効果」に3、4を記入した支援内容が一つでもあればお答え下さい。)

1 時間や回数が不足し連携が不十分だった

2 個人情報取り扱いの扱いの問題があり、情報交換に限界があつた。

3 情報の共有化を行う仕組み・システムがなかつた

4 お互いの役割が不明確であつた

5 連携方針についての統一ができず、バラバラに対応してしまつた

6 その他(具体的に)

連携先	①連携	②効果	③効果がなかつた理由(当てる番号を記入)	連携先	①連携	②効果	③効果がなかつた理由(当てる番号を記入)	その他(具体的に)												
								①連携	②効果	③効果がなかつた理由(当てる番号を記入)	④その他									
1. 保育所、幼稚園																				
2. 小学校																				
3. 中学校																				
4. 高校																				
5. 県教育事務所																				
6. 教育委員会																				
7. 児童相談所																				
8. 警察																				
9. 市町村子ども担当課																				
10. 保健センター、保健所																				
11. 病院、診療所																				
12. 県立青少年センター																				
13. ハローワーク、若者就職支援センター、求職者支援センター																				
14. 民生・児童委員																				
15. 自治会																				
16. NPO																				

【記入例】

①連携……「児童相談所」と「他法他施策等手続支援」と「同行訪問」について連携
 ②効果……「他法他施策等手続支援」については「1 効果があつた」が、「同行訪問」については「3 あまり効果がなかつた」
 ③効果がなかつた理由
 ……「児童相談所」との連携が「3 あまり効果がなかつた」(「同行訪問」)のは、「1 時間や回数が不足し連携が不十分だった」と「4 お互いの役割が不明確であつた」から

連携先	①連携	②効果	③効果がなかつた理由(当てる番号を記入)	連携先	①連携	②効果	③効果がなかつた理由(当てる番号を記入)	その他(具体的に)												
								①連携	②効果	③効果がなかつた理由(当てる番号を記入)	④その他									
7. 児童相談所																				

問 17. 18 歳以下の子どもの支援に関し他機関と連携していく上で課題として考えることはありますか【当てはまるものを全てに〇】。

- 複数の機関が連携して関わることで親の理解・協力を得ること
- どこと連携したらよい良いのかが分りにくいこと
- 連携する機関との情報の共有化
- 個人情報についての対応
- その他(具体的に)
- 特になし

問 18. 他機関と連携をとりやすい条件としてどのようなことが考えられますか【当てはまるものを全てに〇】

- 機関の役割を把握していること
- 連携のための手順がルール化されていること
- 事例会議等で事前に接点があること
- 関係機関の窓口一覧が整備されていること
- 関係機関との橋渡しをする人がいること
- その他(具体的に)

問 19. 子どものいる世帯への支援について日ごろ感じていること、気になることなどをご自由に記入して下さい。

具体的に

◎ これで質問はおわりです。長時間ご協力いただきましてありがとうございます。◎

子どもの自立支援推進についてのアンケート調査

(関係機関調査)

平成 23 (2011) 年 8 月
神奈川県

【ご記入に際してのお願い】

- ・ご記入は、鉛筆又は黒・青のペン・ボールペンでお願いいたします。
- ・質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方の回答を一部おぼろげにさせていただきますが、その場合は（→）等の指示にそってお願いいたします。
- ・お答えは、当てはまる回答について数字を○印で囲んでください。また、その数字を○で囲み、（ ）内に入していただく場合があります。「その他」に当てはまる時は、その数字を○で囲み、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- ・質問文のおわりに【○だけ○】という場合には1つだけ、【当てはまるもの全てに○】という場合にはいくつでも○印をつけてください。
- ・ご記入が終わりましたら、もう一度、記入まちがいがいや記入もれがないかどうかお確かめください。

【調査実施】 神奈川県 保健福祉局 地域保健福祉部 生活支援課

【調査委託先】 (株) タイム・エージェント

【問い合わせ先】 アンケート事務局 担当/渡部、後藤 TEL 03-3770-6823

(受付時間/10:00～18:30、土日祝除く)

* すべてのご質問は、7月1日現在の状況についてお答え下さい。

問 1、貴機関名をお答え下さい。

記入者氏名	役職
部署名	電話

【記載内容について確認の連絡をさせて頂くこともございますので、下記につきましても記入下さいますようお願い致します。】

生活保護受給世帯の子どもの把握状況についてお尋ねします。

問 2、貴機関を現在利用（在籍・在園）している 18 歳以下の子どもの世帯の生活保護受給状況について把握していますか【○だけ○】。

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1 把握している | 2 だいたい把握している | 3 あまり把握していない |
| 4 把握していない | | |

【問2で、1～3に○をした場合】

→ 問 2-1. 貴機関を現在利用（在籍・在園）している 18 歳以下の子どもの中に生活保護受給世帯の子どもの把握状況は【○だけ○】。

- | | | |
|------|-------|---------------|
| 1 いる | 2 いない | 3 把握している中ではない |
|------|-------|---------------|

経済的に困窮している世帯の子どもの世帯の支援に関する他機関との連携・協力についてお尋ねします。

問 3、生活保護受給世帯を含め、親の失業、病気などで収入が少なく経済的に困窮している世帯の 18 歳以下の子どもへの支援に関し、福祉事務所と連携したことはありますか【○だけ○】。

1 連携している	2 連携したことがある	3 連携したことはない
----------	-------------	-------------

【問3で、1又は2に○をした場合】

→ 問 3-1. 福祉事務所とはどのくらいの頻度で連絡をとりましたか【○だけ○】。

1 一ヶ月に1回程度	2 半年に2、3回程度	3 半年に1回程度
4 一年に1回程度	5 事業があったときに数回連絡を取った	6 事業があったときに頻りに連絡を取った

→ 問 3-2. 子どもの支援に関し、どのような内容について連携をとりましたか。また、連携した内容についてどの程度の効果がありましたか。

連携の携 りた 内容 （当 ては まる ）	効果（左欄で○をした場合に○だけ○）			
	効果があ った	ある程 度効果 があっ た	あまり 効果が なかつ た	効果 がな かつ た
1. 子どもの発達や行動の見方に関する助言	1	2	3	4
2. 就職訓練や職業訓練等の自立支援	1	2	3	4
3. 子どもへの支援に協力的でない親の説得	1	2	3	4
4. 他法他施策等手続支援	1	2	3	4
5. 同行訪問	1	2	3	4
6. 対象者の世帯の状況についての情報交換	1	2	3	4
7. 事例研究会等の勉強会・研修会の開催	1	2	3	4
8. その他（具体的に）	1	2	3	4

【問3-2(効果)のいずれかで、3又は4に○をした場合】

問 3-3. 効果がなかった連携内容について、それはどうしてだと考えますか【当てはまるもの全てに○】。

- | |
|--------------------------------|
| 1 時間や回数不足し連携が不十分だった |
| 2 個人情報取り扱いの問題があり、情報交換に限界があった |
| 3 情報の共有化を行う仕組み・システムがなかった |
| 4 お互いの役割が不明確であった |
| 5 支援方針についての統一ができず、バラバラに対応してしまっ |
| 6 その他（具体的に） |

問4. 生活保護受給世帯を含め経済的に困窮している世帯の18歳以下の子どもの支援に関し、他機関と連携したことはありますか【一つだけ〇】。

1 連携している 2 連携したことがある 3 連携したことはない

[問4で、1又は2に〇をした場合]

問4-1. 連携した機関や連携内容等について下記【記入方法】に従い下表に記入して下さい。

【記入方法】(クバページ【記入例】参照)

①連携……連携したことのある機関・内容に〇
 ②効果……「①連携」に〇をした場合に、効果について下から番号を選んで記入

1 効果があった 2 ある程度効果があった
 3 あまり効果がなかった 4 効果がなかった

③効果がなかった理由
 ……「②効果」に3、4を記入した場合に、その理由を下から選んで番号を記入(複数の内容について連携した場合、「②効果」に3、4を記入した支援内容が一つでもあればお答え下さい。)

1 時間や回数が不足し連携が不十分だった
 2 個人情報取扱いの問題があり、情報交換に限界があった。
 3 情報の共有化を行う仕組み・システムがなかった
 4 お互いの役割が不明確であった
 5 連携方針についての統一ができず、バラバラに対応してしまっ
 6 その他(具体的に)

	し行子 て動との 助身の 言万に 関や	援訓就 練職 等就 の協 的得 的の な支 い援	親に子 の協 的得 的の な支 い援	他 支法 援他 策手	同 行訪 問	情状対 報況象 交に者 換つ の世 帯等	の 強例 権会 研 修等 の	に そ の 他 (具 体 的)	③効果がなかった理由(当 てはまる番号全てを記入)	
									①	②
1. 保育園、幼稚園										
2. 小学校										
3. 中学校										
4. 高校										
5. 県教育事務所										
6. 教育委員会										
7. 児童相談所										
8. 警察										
9. 市町村子ども担当課										
10. 市町村生活保護担当課										
11. 保健センター、保健所										
12. 病院、診療所										
13. 県立青少年センター										
14. ハローワーク、若者就職支 援センター、求職者支援センタ										
15. 民生・児童委員										
16. 自治会										
17. NPO										

【記入例】

- ①連携……「児童相談所」と「他法他施策等手続支援」と「同行訪問」について連携
 ②効果……「他法他施策等手続支援」については「1 効果がなかった」が、「同
 行訪問」については「3 あまり効果がなかった」

③効果がなかった理由

……「児童相談所」との連携が「3 あまり効果がなかつ
 た」(「同行訪問」)のは、「1 時間や回数不足し連携
 が不十分だった」と「4 お互いの役割が不明確であ
 った」から

7. 児童相談所	し行子 て動との 助身の 言万に 関や	援訓就 練職 等就 の協 的得 的の な支 い援	親に子 の協 的得 的の な支 い援	他 支法 援他 策手	同 行訪 問	情状対 報況象 交に者 換つ の世 帯等	の 強例 権会 研 修等 の	に そ の 他 (具 体 的)	③効果がなかった理由(当 てはまる番号全てを記入)	
									①	②
				〇	1	〇	3		1	4

問5. 18歳以下の子どもの支援に関し、福祉事務所や他機関と連携していく上で課題として考えることはあ
 りますか。下の中から当てはまる番号全てを選んで に記入して下さい。

① 福祉事務所

② 福祉事務所以外の機関

- 1 複数の機関が連携して関わることで親の理解・協力を得ること
 2 どこ連携したらよいか分かりにくいこと
 3 連携する機関との情報の共有化
 5 その他(具体的に)
 6 特になし

問6. 福祉事務所や他機関と連携をとりやすい条件としてどのようなことが考えられますか。下の中から当て
 はまる番号全てを選んで に記入して下さい。

① 福祉事務所

② 福祉事務所以外の機関

- 1 機関の役割を把握していること 2 連携のための手順がルール化されていること
 3 事例会議等で事前に接点があること 4 関係機関の窓口一覧が整備されていること
 5 関係機関との橋渡しをする人がいること
 6 その他(具体的に)

神奈川県子どもの健全育成プログラム策定推進モデル事業
策定部会メンバー

平成22年度

関根 弘子、原田 史恵、マイラーズ友美、山本 江士、長谷部 慶章、
宮澤 恭子、簗島 尚子、北村 充子、相原 幸子、竹内 幸夫、高橋 玲子、
佐藤 文子、細谷 睦実、栗田 聡史、菅原 暖子、鈴木 徹、三上 雅夫、
小川 恭子、菊池 健志、大澤 弘美、岡田 円、鈴木 恭子

平成23年度

高橋 朋生、原田 史恵、マイラーズ友美、山本 江士、長谷部 慶章、
宮澤 恭子、簗島 尚子、北村 充子、相原 幸子、徳江 三恵子、檜山 浩、
佐藤 文子、細谷 睦実、栗田 聡史、菅原 暖子、鈴木 徹、三上 雅夫、
小川 恭子、菊池 健志、田中 道子、岡田 円、鈴木 恭子、島崎 久美、
小澤 紅子

平成24年度

高橋 朋生、松井 千佳子、マイラーズ友美、迫 秀一、海野 匡、宮澤 恭子、
簗島 尚子、北村 充子、相原 幸子、武重 英樹、檜山 浩、佐藤 文子、
細谷 睦実、栗田 聡史、豊田 あや、鈴木 徹、三上 雅夫、小川 恭子、
菊池 健志、田中 道子、岡田 円、長谷部 慶章、鎌田 善行、小澤 紅子、
市川 尚子

平成25年度

大澤 靖史、松井 千佳子、マイラーズ友美、迫 秀一、小島 亜紀、宮澤 恭子、
晝場 浩司、北村 充子、相原 幸子、武重 英樹、齋藤 邦典、玉邑 恵子、
穂坂 恭子、簗島 尚子、星 貴久、豊田 あや、鈴木 徹、三上 雅夫、
松岡 一仁、菊池 健志、田中 道子、菅原 文久、鈴木 恭子、長谷部 慶章

※ 順不同、所属はメンバー在籍時のもの

有識者（各年度共通）

首都大学東京 都市教養学部（公的扶助）教授 岡部 卓
東海大学健康科学部（児童福祉）准教授 小林 理
首都大学東京 都市教養学部（教育）助教 西村 貴之